

《第75回》令和元年六月の作品

〈六月十四日（金）於・文京区民センター3E〉

梅雨に入る木喰仏の微笑かな

（芙沙）

高原の静寂しじまの中の蝉の声

（奉男）

十薬の白したがへて道祖神

（一江）

待ちわびし懐妊の報聖五月

（孝昭）

遠き世の国分尼寺や梅雨深し

（前歩）

低音の魅力と言へり牛蛙

（平六）

老鶯やさざ波寄する親不知

（清助）

江戸系も肥後系もあり花菖蒲

（正雄）

新緑になんじやもんじやの主張かな

（隆治）

シネマ「兄消える」

老優の軽みの演技初夏の風

（正佳）

隣家よりどくだみの花越境す

（貴美）